

江陵3年ぶり全国へ

2-1 北海道栄に雪辱 接戦ものに 成長示す



【1回戦・江陵—北海道栄】1点差で勝利、3年ぶりのインターハイ出場を決めて喜びを爆発させる江陵の選手たち

江陵は、昨年の1回戦で逆転負けを喫していた北海道栄に雪辱を果たした。1点を争う接戦を逃げ切って成長したことを証明し、全国切符を手にした。

ゴールへひたむきに迫った。約380人の全校応援を受け、第1ピリオド(P)11分34秒、眞砂章(3年)が自らのシュートリバウンをたたいて先制。第2Pの16分48秒にも田守翼(同)

が同様のプレーで貴重な追加点を入れた。三杉友宏監督は「相手GKが上手だと分かっていたので、きれいなゴールは難しいと思っていた。混戦での得点は狙い通り」と喜んだ。

2-0のリードで迎えた第3Pの開始早々に思わぬ展開が待ち受けていた。高久大典主将(同)が反則で退場に。献身的な動きを見せていた攻守の要の離脱に

浮き足立ち、約1分半後に失点し1点差に詰め寄られた。昨年は残り5分で同点にされ、さらに逆転を許して敗れた。今年も嫌な流れだったが、守り切った。

チームワークと仲の良さが武器だ。三杉監督は「突出した選手がいない分、全員が一生懸命にプレーする」と話す。試合前の控室ではムードメーカーの石井大夢(同)が一発芸を披露

し爆笑を誘った。初戦で硬くなっていた選手の緊張を和らげた。厳しい試合を制し、チームの士気は上がった。眞砂章は「守りの意識をきょう以上に徹底し、ロースコアに持ち込んで勝ちたい」と、23日の北海との準々決勝に臨んだ。

練習 一本

十勝陸協
岐阜経済
大監督 品田

十勝陸上競技協会(宮坂寿文会長)は19日、帯広市総合体育館でトレーニング講習会を行った。講習会には外部コーチとして、2003年に男子走り幅跳びで当時の北海道記録を樹立し

